

UTSUNOMIYA **Blitzen** **TIMES**

August.2022 **Vol.75**

Race Report

- 06.24 全日本選手権個人タイム・トライアル
- 06.26 全日本選手権大会ロード・レース
- 07.02 JCL BANK LEAGUE 宇都宮ステージ
- 07.09 JCL 広島トヨタ広島ロードレース
- 07.10 JCL 広島トヨタ広島クリテリウム

Special Present

今日の沼野郎 清水裕輔監督
ブリッツェンファン感謝祭レポート
地域貢献活動レポート & Race schedule

全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会
全日本自転車競技選手権大会ロード・レース 男子エリート

新加入の宮崎が個人TTで5位 初のエリート登録で力を見せつける



増田、暑さとの戦いのTT

全日本選手権の個人タイムトライアルには、増田成幸、阿部高之、宮崎泰史の3選手が参加。19年、21年の全日本選手権で個人タイムトライアルのチャンピオンとなった増田にとって、3連覇のかかった本大会（20年は新型コロナの蔓延で中止）。しかしバセドウ病の影響で暑さを苦手とする増田は、中盤以降からペースを落とし10位でフィニッシュ。阿部は終始イーブンペースで周回を重ね9位でゴールとなった。

今季から男子エリート1年目のルーキー宮崎は、序盤から表彰台圏内のハイペースでラップを刻み、WAVE1の中では2位につけ後半スタートする選手の結果を待つ形に。すべてのライダーがゴールを迎え、トップと1分56秒差の5位と力を見せつけた。

総力戦で向かったロード

チーム創設以来悲願のロード日本一を目指し、増田成幸、阿部高之、小坂光、堀孝明、小野寺玲、貝原涼太、及川一総、宮崎泰史の8人をエントリー。

レースは全日本ならではのサバイバルレースの様相を呈し、3周目にチーム右京が全員で前方のコントロールを始めたかと思うと、ヨーロッパから全日本出場のために帰国した新城幸也選手（バーレーン・ウィクトリアス）も5周目に動き出す。また、Jプロツアーで今季6勝と破竹の勢いを見せる小林海選手（マトリックス・パワータグ）も反応し、どんどん集団が活性化していく。そんな中、集団の動きにチェックを入れて目立っていたのが宮崎だ。チーム加入1年目ながら5月のツアー・オブ・ジャパンで新人賞獲得（総合9位）、5月後半のツ

ル・ド・熊野で落車によるリタイアをしたが、「骨にはななかったので5日後くらいから練習をしていた。練習は若干ポリウムが落ちたが、走りが阻害されるような痛みはなかった」として初のエリートカテゴリーでの出走を決めた。

大きな動きが出たのは8周目だ。マトリックス・パワータグの小森亮平選手、チームブリヂストンサイクリングの河野翔輝選手、そしてチームから阿部の3名が集団からの抜け出しに成功。さらにもう1名合流して、4名の逃げ集団が形成された。

後続とのタイム差は30秒〜1分30秒辺りで前後しながら、しばらくは4名による小旅行となった。しかし、後ろに控える優勝候補たちも黙っていないかった。特に新城選手の揺さぶりは強力で、宮崎は足をつって11周目で集団から遅れる。

やがて阿部たちの小旅行も終わり、生き残りをかけた勝負がさらにヒートアップ。フィニッシュまで36kmほどを残して、メイン集団に残っていたのはチームとしては増田のみ。阿部も足をつって遅れてしまった。

小さくなった先頭集団からアタックをかけたのは小石祐馬選手（チーム右京）だ。小石選手も春先から目立つ動きをしていた一人だ。逃げる彼を増田を含む16名が追う形となった。

「アップダウンが激しいわりにはスピードが出るコースで、後半どれだけ元気えられるかが勝負。チーム力を発揮した展開に持ち込むのはなかなか難しい」とレース前に語った増田。チームは増田のそばにアシストで宮崎を走らせ、後半に持ち込む予定でいたが宮崎は遅れている。他チームも1、2名を残す程度で、優勝候補の一角であったマトリックス・パワータグの小林選手もレースを離れる厳しさ。だがキナンは3

名が残っていた。

残り16kmとなり、小石選手に後続が追いつき14名の集団となった。ラスト1周を知らせる鐘の音を山本大喜選手（キナン）が最初に聴き、いよいよ最終局面がやってきた。そこで本場ヨーロッパで長年鍛え上げた底力を見せつけたのが新城幸也選手だ。そこに同郷の新城雄大選手（キナン）が、前を走るチームメイトの援護のために食らいついた。

ラスト3kmで新城幸也選手が山本選手に追いつき、新城雄大選手も負けじとペダルを踏み込むとフィニッシュラインが見えてきた。最後は新城幸也選手が史上初となる3度目の全日本制覇を達成。増田も粘りの走りを見せたが、13位。宇都宮ブリッツェンは26位の小野寺、27位の阿部と合計3名が完走した。

タイムトライアルリザルト

1位	金子 宗平（群馬グリフィン）	0:49:05.61
2位	小石 祐馬（チーム右京）	+0:19.41
3位	新城 幸也（Bahrain-Victorious）	+1:19.85
5位	宮崎 泰史	+1:56.78
9位	阿部 高之	+2:46.13
10位	増田 成幸	+2:48.79

ロードレースリザルト

1位	新城 幸也（Bahrain-Victorious）	4:36.28	DNF	宮崎 泰史
2位	新城 雄大（キナン）	+0:00	DNF	堀 孝明
3位	山本 大喜（キナン）	+0:15	DNF	貝原 涼太
13位	増田 成幸	+2:08	DNF	及川 一総
26位	小野 寺玲	+7:21	DNF	小坂 光
27位	阿部 高之	+7:35		

【ロードレース後の増田成幸のコメント】

チームとしてできることはやった。その上での結果なので、素直に受け止めている。今日は新城幸也選手が優勝したが、キナンも人数を最後まで残してきた。表彰台に乗った3人は心からおめでとうと言える。勝つべくして勝った選手だと思ふ。そういう全日本選手権になった

ことは良かったと思う。今日のレースはチームでしっかり反省して、これを今後に活かしていきたい。振り返ることでチームの糧として次のレースも頑張りたい。秋になったら（今日のような酷暑ではなく）涼しいレースになると思うので、もう少し生き生きできるんじゃないかな。



JCL BANK LEAGUE 2022

東予選 Round 宇都宮ステージ

宇都宮ブリッツェン圧巻の全勝！
8月14日の決勝へ駒を進める

日本初のトラックレース対抗戦「JCL BANK LEAGUE」（以下バンクリーグ）の東予選が宇都宮競輪場で開催された。

バンクリーグのルールはシンプルだ。1チーム4名で構成し、2チームがバンクを出走。3、5、7、9、11周目を先頭通過した選手に1ポイントが与えられ、3ポイント先取したチームが勝ちとなる（1レースで同一選手は最大2ポイントまで獲得可能）。1レースが15分もあれば終了し、スピーディーな展開が人気を呼んでいる。

宇都宮ステージには、さいたまディレーブ、レバンテフジ静岡、チーム右京相模原、那須ブラーゼン、そして宇都宮ブリッツェンが参加。5チームによる総当たり戦で、2チームが8月に京都で行われる決勝に駒を進める。

第1レース vs さいたまディレーブ

増田成幸、小坂光、小野寺玲、貝原涼太で構成した第1レース。スタート直後からバンクを使って相手の様子をうかがう両チームだが、最初のポイントはさいたまディレーブの阿部航大選手が獲得。スルスルと飛び出し10車身ほどの抜け出しに成功した。次に動いたのは宇都宮ブリッツェンのスプリンター「オノデライダー」こと小野寺だ。瞬く間に後続に半周ほどのアドバンテージを得て独走し、2ポイントを取った。最後は小坂が仕掛けて3ポイント目をゲットし、さいたまディレーブに脚力の違いを見せつけた初戦となった。3-1で宇都宮ブリッツェンが勝利。

第2レース vs レバンテフジ静岡

増田、阿部嵩之、小野寺、宮崎泰史で挑んだ第2レースの相手は、静岡競輪場

でも練習を積むレバンテフジ静岡。ともに初戦を勝った1勝同士の争いは、1周目で小野寺が独走で逃げて先手の1ポイント。レバンテフジ静岡もモンゴルライダー2名が追走で力を見せるが、小野寺が踏ん張って2ポイント目も獲得。最後にキレのある逃げを決めたのは阿部だ。後続を大きく引き離して3ポイント目をチームにもたらした。3-0で宇都宮ブリッツェンが勝利。

第3レース vs チーム右京相模原

阿部、小坂、貝原、宮崎で組んだ第3レース。チーム右京相模原は1対1で選手をびったりマークする戦略をとってきたが、宇都宮ブリッツェンが一枚上手だった。まずコーナー上部から鮮やかなスプリントを見せた貝原が1ポイント。続いて阿部がイン側からアタックするが、追走の吉岡直哉選手に競り負け1ポイントを獲得。次には小坂が仕掛け、さらに宮崎がチーム力を使って外から差し込みポイントを獲得。そのまま宮崎が逃げて3ポイント目。3-1で宇都宮ブリッツェンが勝利。

第4レース vs 那須ブラーゼン

那須ブラーゼンとの地元栃木ダービーとなった最終第4レース。阿部、小野寺、貝原、宮崎の編成で登場すると、最初の駆け引きから宮崎、小野寺が飛び出す。那須ブラーゼンもすかさず2名がマークについた。その脇から様子をうかがっていた阿部が1ポイントを奪い、さらに踏み込み2ポイント目もゲット。2-0になったファイナルラップでは宮崎が単騎で後続との差を広げ、

宇都宮ブリッツェンに4勝目をもたらした。バンクリーグは8月3日に別府競輪場（大分県別府市）で西予選を行い、8月14日に京都向日町競輪場（京都府向日市）で決勝戦を開催する。宇都宮ブリッツェンは東予選で無敗の4勝、1位での決勝進出を決めた。2位のレバンテフジ静岡も決勝を走る。

宇都宮ブリッツェンリザルト

3-1	さいたまディレーブ
3-0	レバンテフジ静岡
3-1	Team UKYO SAGAMIHARA
3-0	那須ブラーゼン

【レース後の小野寺玲のコメント】

バンクリーグは振るわない成績が多かったが、今回は全勝できてすごく気持ちがいい。やはり地元の方々の応援のパワーが、勝利に働きかけてくれたのだと思う。チームメイトたちが自信を持って飛び出してくれて安心感のあるレースができた。京都でも自信を持ってレースに挑み、いい結果を宇都宮に持ち帰りたい。



三菱地所JCL広島トヨタ広島ロードレース

スプリント2位の増田
JCLイエロージャージ獲得

2022.07.10 広島市西区商工センター周回コース

三菱地所JCL広島トヨタ広島クリテリウム

逃げ切りでアベタカ2位
増田、小野寺リーダーを堅守

実力者が揃った先頭集団

2週間前の全日本選手権と同じコースで行われた本大会。序盤から有力選手が積極的に動き、3周目に決定的となった10数名の先頭グループに、チームは増田成幸、阿部嵩之、小野寺玲、宮崎泰史の4人を送り込む。ただしライバルも強力で、山本元喜選手、山本大喜選手、トマルバ選手（以上キナン）、小石佑馬選手、吉岡直哉選手（以上チーム山京相模原、谷順成選手（那須ブラーゼン）という役者ぞろいだ。

勝負を決めた8周目。コース最難関である三段坂での揺さぶりで小野寺と阿部が遅れ始める。先頭は6人となったが、再び小野寺が追いつき、そのまま山本大喜選手のアタックに反応するなど、最近のロードレースでの強さを見せる。阿部も追いつきチームはまた4人となって残り2周に。結局、小野寺と阿部は遅れて

しまったが、先頭には増田と宮崎が残った。

ゴール勝負に絡む増田

スタート前には大雨が降っていた影響で涼しかったが、この頃には太陽が完全に現れ気温は33度にも。湿度も上がり、暑さに耐性を失った体の増田にはつらい展開。10周回目の最終周では序盤からいい動きを見せていた宮崎が遅れ、ゴールは増田、山本元喜選手、トマルバ選手の3人という、宇都宮ブリッツェン1名対キナン2名の勝負に。そしてホームストレートでルバ選手のアシストを受けた山本元喜選手が残り150mでスプリントを開始。増田も反応するが山本選手をかわすことが出来ず、2位で広島2連戦の初日を終えた。増田は2位に入ったことでJCLリーダーである個人総合ランキング1

積極的な逃げを見せた阿部

市街地の平坦17kmを30周するこのレースは、12周目で阿部を含む8名が抜け出しに成功。地元ウィクトワール広島の高久保田修介選手に加え、山本大喜選手、トマルバ選手（以上キナン）、孫崎大樹選手（スパークルおおい）、武山昇輔選手（チーム山京相模原）、バトムンク・マフルエルデン選手（レバンテフジ静岡）、小森亮平選手（マトリックススパワータグ）と各チームの中核を担う選手が揃った。

16周回完了時、中間スプリントを孫崎選手が取ると、マフルエルデン選手が離脱。7名とメイン集団とのタイム差は27秒ほどだった。

逃げ切り勝負のゆくえは

レースはやがて落ち着きを見せ、24周回完

位の証であるイエロージャージを獲得。またスプリント賞のブルージャージでこのレースに臨んだ小野寺は、3つすべての中間スプリントポイントで先頭通過し、危なげなくジャージをキープした。

リザルト

1位	山本大喜（キナン）	2:57.35	DNF	堀 孝明
2位	増田成幸（宇都宮ブリッツェン）	+0:01	DNF	及川一総
3位	トマルバ（キナン）	+0:04		
5位	宮崎泰史	+1:12		
6位	小野寺玲	+1:50		
8位	阿部嵩之	+2:17		



【レース後の小野寺玲のコメント】

広島は苦手なコースだが、このレースであそこまで残れたのは自分としてはすごいことだと思う。あとは最後まで脚が残せるようになれば、今日のメンバーならスプリントで勝てたと思うので悔しい。でも、中間スプリント全制覇で、取れるところはきちんと取ったのは良かった点ではないか。

ジャージをキープ。「逃げにもう一人乗せられなかったのが反省点」と増田。またスプリント賞のブルージャージも小野寺が守り抜いた。

【レース後の阿部嵩之のコメント】

トマルバ選手を警戒はしていたが、うまいタイミングで行かれてしまった。脚が疲労していたので追うのを躊躇したことが、勝負の決め手となってしまった。ルバ選手を追いかけないと優勝はないので残った選手の思惑は合致した。だが足並みはそろわないので、追いつきたい気持ち半分、もう半分は（表彰台は）5人勝負になると考えていた。今年はウエイトレレーシングなどでスプリントができるようになっての自覚はあり、やってみたら結構できた。自信にはなったが、チームみんなで行けていたらよかったと思う。嬉しい半分、悔しい半分ですね。



リザルト

1位	トマルバ（キナン）	1:22.42	DNF	堀 孝明
2位	阿部嵩之（宇都宮ブリッツェン）	+0:19	DNF	及川一総
3位	孫崎大樹（スパークルおおい）	+0:19		
12位	小野寺玲	+1:15		
17位	増田 成幸	+1:16		
21位	宮崎泰史	+1:21		

選手や関係者が、今、「沼ってる」ものをご紹介!

沼野郎

飲ませたら饒舌になるのかも!?

清水裕輔 監督



多種多様な日本酒を飲んで 奥深くまで知ってみたい

このコーナーの二番手を仰せつかりました、監督の清水裕輔です。私が大好きなものと言えば日本酒。先月からはミヤラジで「SAKAZUKI」という番組を担当しています。日本酒に合ったのは、新潟のお酒の美味しさからでした。そこから日本酒のことを深く知りたいたいと思い、自分でもいろいろ買いますし、外食でもいろんな味を試してみようと思っています。知れば知るほど奥が深く、自分はまだまだと思わされます。最近ワインセラーを買ったのですが、入っているのはほとんどが日本酒です(笑)

4年前からは宇都宮酒造さんで「剛脚美人」という日本酒をプロデュースさせてもらっています。献上米「とちぎの星」を使った無濾過生原酒。味わいはメロンのような果実を思わせつつ、さとした舌触りとなりました。今後も携われたらいいなと思います。

日本酒を飲んでいると、つまみにも興味がわいてきます。お酒に合わせて用意するのもいいですが、何にでも合っておすすめの海苔です。私は焼き海苔箱を買ってしまい



▲私の焼き海苔箱です。富士山が大好きなので、葛飾北斎の赤富士のものを求めました。炭に火をつけ、海苔を温めます。



▲数量限定で「剛脚美人」という貴重な日本酒をプロデュースさせてもらっています。ラベル貼りも自分で。



▶創業1877年の宇都宮酒造さんにていつもの監修業とは違う姿ですね

ました! 桐の箱に炭を入れ、その中で海苔を温めるだけの贅沢な道具ですが、海苔の香りが立ち、パリッとした食感となつて、この上ない酒の肴になります。いろんな日本酒にトライしていると、時には口に合わないと思うお酒にも当たります。でもそんなときは、飲み方を変えてみるんです。お水を飲んで、口の中の味をゼロにして飲んでみたり、逆に食べ物の味が口にある間に飲んでみたり。ほかにも冷やしたり、温めたり、盃を変えてみたり...。そうすると、イマイチだと思っていた味が、自分好みになる場合があります。みなさんもぜひ試してみてください。レースでお酒の美味しい街はたくさんありますが、なかなか酒蔵巡りはできませんね。広島のレストランは何度も西条を訪ねているのに、夜にちよと酒蔵通りを散歩しただけ。いつかゆっくり回ってみたいです。日本酒好き歴の長い方と話をすると、私のひよこぶりが思い知られるので、蔵元を巡ったりして、もっと極められれば。あつ、でも最近、ウイスキーにも興味が出ています(笑)

ミヤラジ (宇都宮コミュニティメディア FM77.3)
第2・4月曜日 20:00 ~
宇都宮ブリッツェン清水裕輔の「SAKAZUKI」
日本酒について語る「清水監督の」番組
です。ウェブアプリで県外の方もお聞
きいただけます。Check it out!



ファンクラブ会員限定イベント ブリフェス 2022 ~ブリッツェンファン感謝祭~



7月23日(土)宇都宮ブリッツェン2022
ファンクラブ限定イベントを宇都宮市サイクリ
ングターミナルで行いました。
第一部は、シーズン前半戦を振り返るトーク
ショーが行われ、LIVE配信やレースレポート
だけでは伝わらない、裏側や、秘話など、ファ
ンクラブ限定イベントならではの特別なトーク
ショーとなりました。
第二部では、選手達は浴衣にお色直し。か
き氷、水風船すくい、くじ引き等の縁日でファ
ンの皆さまをお出迎え!
見慣れたレーサーウェアはもちろん、引き締
まったボディに羽織る浴衣姿もカッコいい!



最後は「ブリッツェン食堂」でランチタイム。ファ
ンクラブの皆さまとお腹も心も満たされ、楽
しい時間を過ごす事が出来ました。後半戦も
ファンクラブの皆さまの応援をパワーに変え、
ONE TEAMとなって勝利を届けます!!



6月に総受講者6万人に到達した。佐野市立常盤小学校を訪問。実に149年という長い歴史を持つ小学校です。先生方の『ふるさと常盤（ときわ）の誇りをもつて前に進んでもらいたい』という熱い想いを受け、宇都宮ブリックツェンの「常盤小学校閉校記念自転車安全教室」が実現しました。

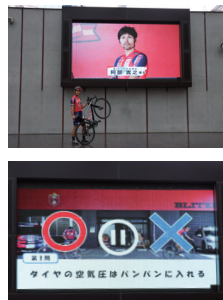
西村大輝選手と中村魁斗選手、そして栃木県警察から大道（だいどう）ポリスさんの3名が講師を勤め、校庭での実演が終了したあととも児童の皆さんと選手の交流が続いていました。



これから宇都宮ブリッツェンは栃木県全域の学生さん、児童さん、お子さんたちに交通安全教室を続けてまいります！

5月に始まった新たな地域貢献活動「宇都宮ブリッツェン朝のあいさつ・交通安全運動（ハロー・セーフティ・プロジェクト）」。7月8日には宇都宮中央警察署と合同で実施、宇都宮ブリッツェンのマスコット「ライトくん」が一日自転車安全指導部に任命され、帰宅途中の高校生たちに交通安全を呼びかけました。

14日は宇都宮ブリッツェンが監修に参



加し、宇都宮市が制作した自転車安全
全利用教育動画「宇都宮自転車安全
運転レース」もお披露目されました。
増田選手、阿部選手、小野寺選
手が熱演しています。

8/6 (sat) JCL 大分オートポリスロードレース
8/7 (sun) JCL 大分オートポリスロードレース
8/20 (sat) シマノ鈴鹿 (タイムトライアル)
8/21 (sun) シマノ鈴鹿 (ロードレース)
9/3 (sat) JCL 古座川町ロードレース
9/9 (fri) ツール・ド・北海道
9/11 (sun)
9/25 (sun) JCL 高知県宿毛市ロードレース



The image displays a large collection of Japanese corporate logos and names, organized in a grid-like fashion. The logos are diverse in design, featuring various colors, fonts, and symbols. Some logos are accompanied by their respective company names in both Japanese and English. The companies represented include a wide range of industries, from automotive (e.g., Honda, Toyota) to technology (e.g., Panasonic), retail (e.g., Ito-Yokado), and services (e.g., Daiwa House). The overall presentation is a comprehensive visual index of Japanese corporate branding.

Logos visible include:

- Merida** (MERIDA)
- Miyata** (miyata)
- Kanseki** (kanseki)
- 下野新聞社** (Shimo News Company)
- SurLuster**
- ライブガーデン** (Live Garden)
- TOYOTA WOODYOU HOME**
- SHIMANO**
- 足利銀行** (Asahi Bank)
- ORES**
- Dexerials**
- NSK ナカニシ**
- rolan ローラン**
- Honda Cars** (Honda Cars 栃木中央)
- 作新学院** (Sakushin Gakuin)
- 栃木信用金庫** (Tochigi Credit Union)
- 渡辺建設株式会社** (Watanabe Construction Co., Ltd.)
- とちぎテレビ** (Tochigi TV)
- 騎空バトル** (Kikou Battle)
- 仲田総業株式会社** (Nakada Sogyo Co., Ltd.)
- TOCHIGI**
- GOKO** (human link corporation)
- たのびの国** (Tanobino Kuni)
- TCB観光** (TCB Kankou)
- ケイズブレイン** (Keizubrain)
- 関東自動車** (Kanto Auto)
- 宇都宮食販** (Utsunomiya Shokuban)
- NEX NIPPON EXPRESS**
- Uboken**
- CRT ハワジング** (CRT Hawajingu)
- たいらや** (Taieraya)
- BOA DIALED IN**
- tt** (ティーツーテクニカル)
- Mr. NIKKO HILL CLIMB**
- フクダヘルシー** (Fukuda Healthy)
- TIGER** (タイガーカワラ)
- Continental Home** (コンチネンタルホーム)
- JB JARBIS**
- Kids Corporation Holdings**
- K. K. 日本栄給食協会** (K. K. Nihon Eikyo Kai)
- 松本建設** (Matsumoto Construction)
- 榮商事株式会社** (Eisho Shoji Co., Ltd.)
- Apecs**
- EXPRESS**
- KODAIRA ENTERPRISE**
- 坂田新聞店** (Sakata Shinbun-ten)
- ZEST** (ZEST 株式会社ゼスト)
- 大和証券** (Daiwa Securities)
- 藤井産業** (Fujiwara Industry)
- Power Pharmacy**
- Queen**
- MIZUHO** (みずほ証券)
- 宇都宮餃子** (Utsunomiya Gyoza)
- 多喜山不動産** (Takayama Fudoushan)
- YOKOO** (横尾製作所)
- Wellness**
- 株式会社 ツカサ精密** (Tsukasa Seimitsu Co., Ltd.)
- mommyu**
- 宇都宮中央法律事務所** (Utsunomiya Chuo Legal Office)
- 栃木トヨペット** (Tochigi Toyota Pet)
- 山陰** (San'in)
- 渡辺産業株式会社** (Watanabe Industry Co., Ltd.)
- seibu** (西武百貨店株式会社)
- UBC** (宇都宮文化センター株式会社)
- Fuji Logisticargo**
- 大草鉄工建設** (Ogura Tekko Construction)
- Sokan**
- 野村證券** (Nomura Securities)
- PR TIMES**
- 近畿日本ツーリスト** (Kinki Nippon Tourist)
- 石井機械建設** (Ishii Kikai Construction)
- ISHIKAWA**
- 協新電工** (Keishin Denko)
- 一生懸命パートナー 第一生命** (Daichi Life Group)
- ROOTS SPORTS JAPAN**
- 景観プランニング** (Keikan Planning)
- 鹿野建設株式会社** (Kano Construction Co., Ltd.)
- Daiwa House**
- 植木鋼校株式会社** (Ueki Kougaku Co., Ltd.)
- PIVAMIN**
- YUU YUU WORLD**